

読書活動推進NEWS

福島県教育庁南会津教育事務所 総務社会教育課

「おはなしこぐま」さん訪問 田島小学校読み聞かせボランティア

5月27日(木)田島小学校読み聞かせボランティア「おはなしこぐま」さんの活動を参観しました。昨年はコロナ禍の影響で活動できなかつたため1年ぶりの読み聞かせとなりました。4名のボランティアさんは、「久々に緊張したけど、楽しかった。早くマスクなしでできるといいのに。」とおっしゃっていました。



【もぐらバス】



【ゆらゆらばしのうえて】



【あめがふるとき ちょうちょうはどこへ】

<本日のメニュー>

1年生『もぐらバス[大型絵本]』

ものおきのした1ちょうめ、だれかんちのにわ3ちょうめ、こんなバス停見たことないね。地面の下の住人たちの小さなお話。

2-1『ゆらゆらばしのうえて』

1匹のうさぎが丸太の橋にかけこんできたが、後を追いかけたきつねも橋にとびのった。ところが橋が土手からはずれ、2匹が動かたびにシーソーのように揺れる。丸太のうえて2匹が……。

2-2『あめがふるとき ちょうちょうはどこへ』

雨がふるとき、ちょうちょうはどこへいくのかしら?はねがぬれたらとべないでしょうに…。静かな雨の日の、小さな生き物たちのお話。

3年生『14ひきのあさごはん』

もりのあさ。のいちごつんで、どんぐりのこなでパンづくり。きのこのスープもできた。みんなでつくった、あさごはん。14ひきのあたらしい一日のはじまり。



【14ひきのあさごはん】

《読み聞かせのポイント》

○文の長さでスピード調節!

10分間の朝の読書の時間。自宅で練習して、ピッタリ合わせます。短いものはゆ〜っくり、長いものでも急ぎ過ぎは厳禁。技が光ります。

○季節感のある選書!

今回は雨の時期に合わせた作品を選書しました。

《目からウロコ!》

Q 読み聞かせは「感情を込めて読む」それとも「感情を表さずに淡々と読む」どっち?

A 答えは後者。えっ!と思いませんか?

情感たっぷりを読んでしまうと、子供たちの気持ちも読み手の方向に流されてしまいます。子供一人一人が感じ取る想像の世界は様々なので、ここに読み手の世界観を入れてはならないのだそうです。(とはいっても気持ちが入ってしまうこともあるそうです。)ボランティアさんは子供たちの情操面の成長を担っていることを改めて感じました。ごろうさまです。

《読み聞かせはやめられない》

「スラスラと読んでいてすごい」「読み方を工夫している」読み終わった後の児童の感想です。

感想は様々ですが、子供の顔を見ると、みんな真剣に聞いてくれています。目を輝かせ、相づちを打つ子もいます。この姿を見ると”励みになります”とおっしゃっていました。